



【圖】 仲実 議員

# 介護改悪への対応は？

町長

## 実情に合わせ検討

【圖】 厚生労働省は、「要支援」の高齢者に対する保険給付を廃止し、市町村に任せる「新しい地域支援事業」とする方針を打ち出した。今の保険給付は、サービス内容や利用料などが全国一律で決まっているが、新しい事業では、すべてが市町村の裁量任せで、人員・運営基準もない。保険給付が廃止された場合、サービス内容も旧町単位で異なることが予想されるが、どう対応するか。

【町長】 人員などの基準がないので、市町村間でサービス内容に差が出ることは十分想像できるが、旧町単位で差が出ることはない。制度の見直し内容を見ながら、地域の実情に応じた取り組みができるように検討する。

【圖】 7月の豪雨で、甲川水系の多くの井手口が埋まった。そのため、多くの関係者が労力や金銭の負担を余儀なくされた。台風シーズンを迎え、今後の被害を最小限にするために、県に浚渫を働きかけるべきではないか。

町長

## 要望を継続する

# 浚渫の働きかけを



土砂で埋まった甲川

【町長】 県からは、土砂が溜まり山脚固定の効果が発揮されているという回答だが、河床の堆積には危惧している。従来から県に土砂除去の要望は行ってきたが、今後も浚渫の要望を続ける。

# 飼料価格の高騰への対応は？

町長

## 国・県に拡充を要望

【圖】 アベノミクスによる円安で、本町の主要産業である畜産業に深刻な影響を与えている。

このままではTPP以前に、多くの畜産農家が廃業を余儀なくされるかもしれない。県や国に対応を働きかけるつもりはないか。

【町長】 近年の配合飼料価格の高騰と急激な円安によって、本年4月から6月期の価格は、トン当たり6万6500円で、前年と比べ3150円値上がりしている。本町もあらゆる機会を生かし、国・県に対する拡充を要望していく。



危機に立つ畜産業